

令和5年度子どもの居場所づくり推進事業における目標とその達成度等について

令和6年3月21日

日高川町教育委員会 教育課

令和5年度において、日高川町教育委員会では「子どもの居場所づくり推進事業」として、町内9つの小学校のうち7つの小学校（川辺西小学校、和佐小学校、江川小学校、山野小学校、三百瀬小学校、笠松小学校、寒川第一小学校）において「子ども未来塾」の開設を実施しました。

当該事業における当町の目標とその達成度については、以下のとおりです。

【取組内容】

地域の協力者（元教員等）が指導員となり、放課後における児童の居場所をつくと共に学習支援を行う。この居場所は夏休み、冬休み、春休みを除いた平日に週2回のペースで放課後に上記7つの小学校内において2時間程度開設する。

【達成したい目標】

児童と指導員との地域交流の場となる居場所をつくり、児童の学習支援に取り組み、自ら学習に取り組みきっかけづくりや学習意欲の向上等につなげる。

【目標の達成度を測る指標と目標値】

参加登録児童の保護者を対象にアンケート調査を行い、上記目標に掲げたことなどについて、児童の様子や保護者としての満足度を調査する。居場所に対して「満足している保護者の割合」を指標とし、その目標値を60%に設定する。

【事業における成果、課題点等】

7校全体で148世帯から児童の参加登録があり、これら全世帯の保護者を対象にアンケート調査を実施した結果、98名（66.2%）から回答がありました。

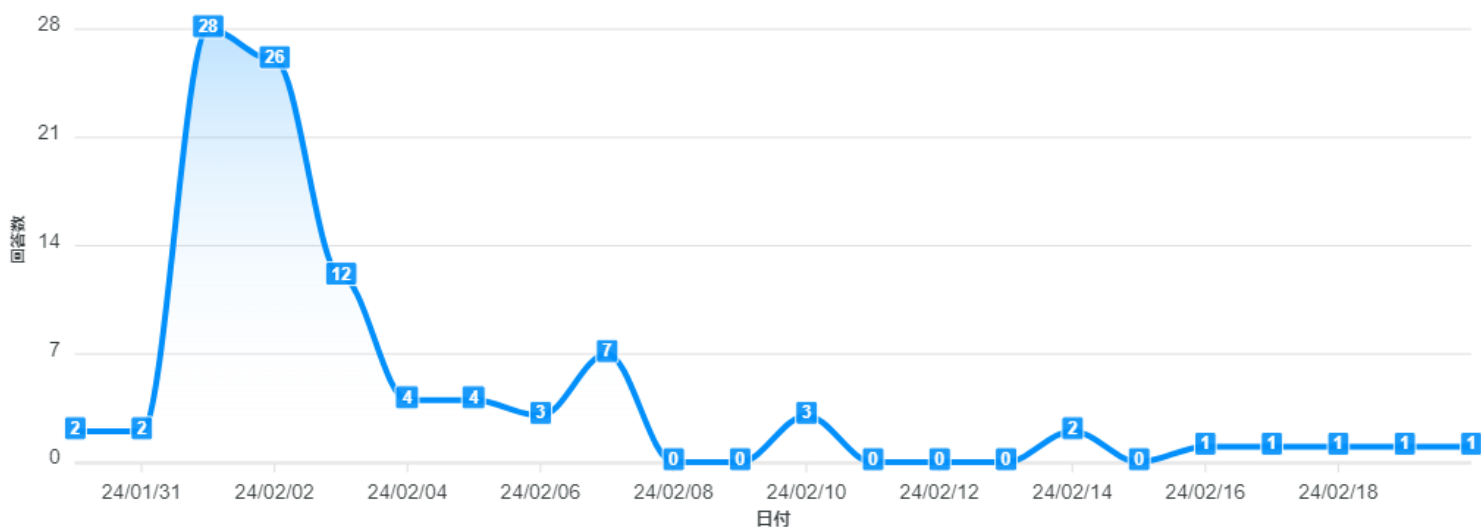
平日に週2回の開催回数については、「ちょうどよい」と回答した割合が76%あり、「子供達にとっていい時間を過ごさせていただいている」、「先生方が分かりやすく教えて下さるようで、子供はとても喜んで参加している」というような声も届けられ、児童と指導員との地域交流の場となる居場所を開設することができたと考えています。

また「学習意欲が向上したことや学習習慣が身についてきたことなどを感じることはありますか？」という質問には、「ある」と回答した保護者は31%ではあったが、「週2回の開設日以外の日においても、帰宅後すぐに宿題に取りかかる習慣が身についてきた」、「家族以外の人に勉強をみてもらい、褒めてもらえたりして本人の自信につながってるように感じる」等の感想が多く寄せられました。指標とした「満足している保護者割合」については、「満足」が59%、「少し満足」が19%、「普通」が20%、「不満」が2%で、「満足」と「少し満足」を合わせると実績値は78%となりました。

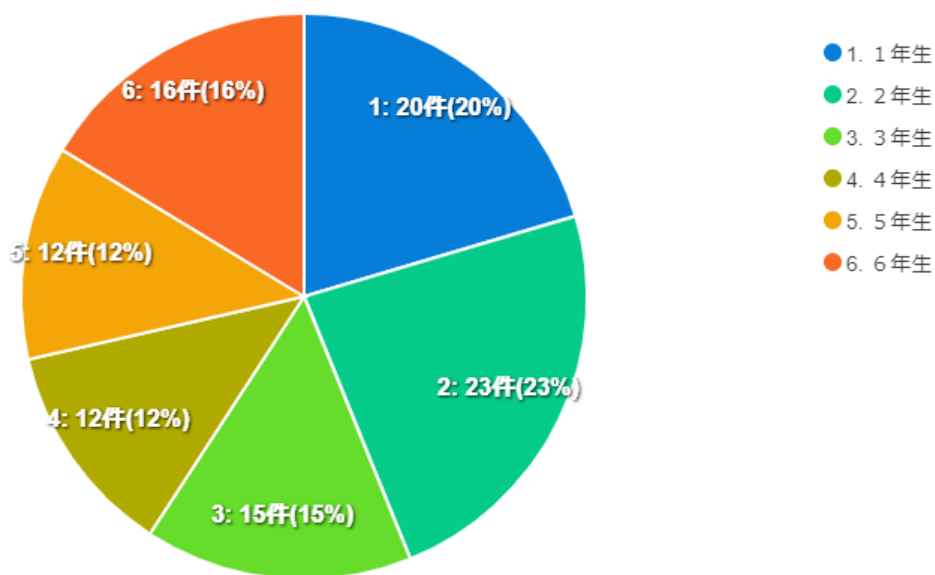
課題としては、最も参加登録児童数が多かった川辺西小学校（参加登録児童数82名）に1回あたり配置される指導員が3名であり、時折人手が足りない状況が生じたことでした。指導員の継続的な確保が事業継続を図る上で大きな課題であると考えています。

令和5年度「子ども未来塾」保護者アンケート

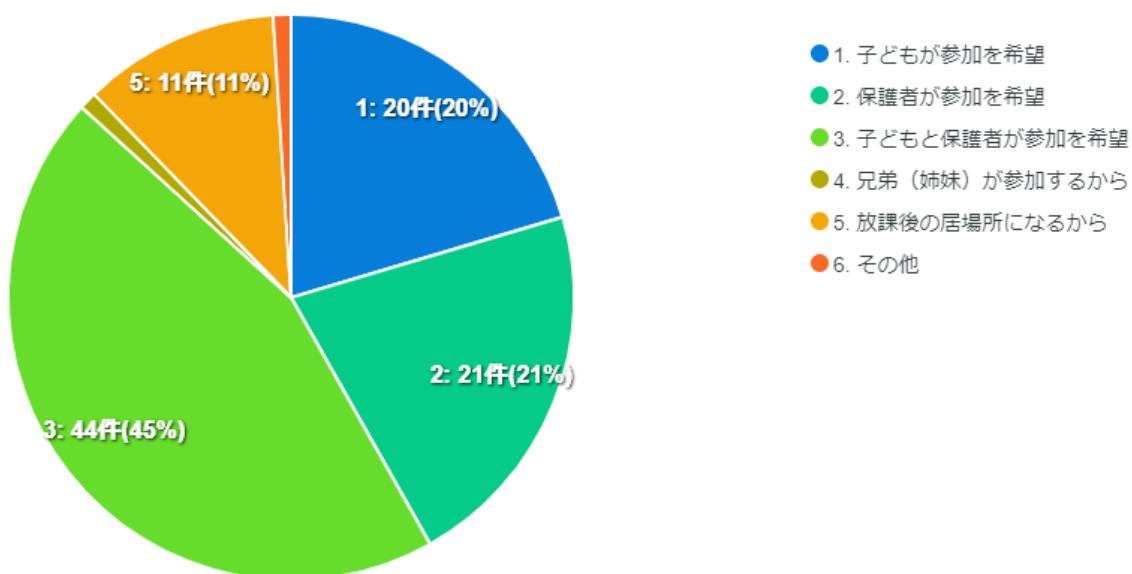
回答数推移



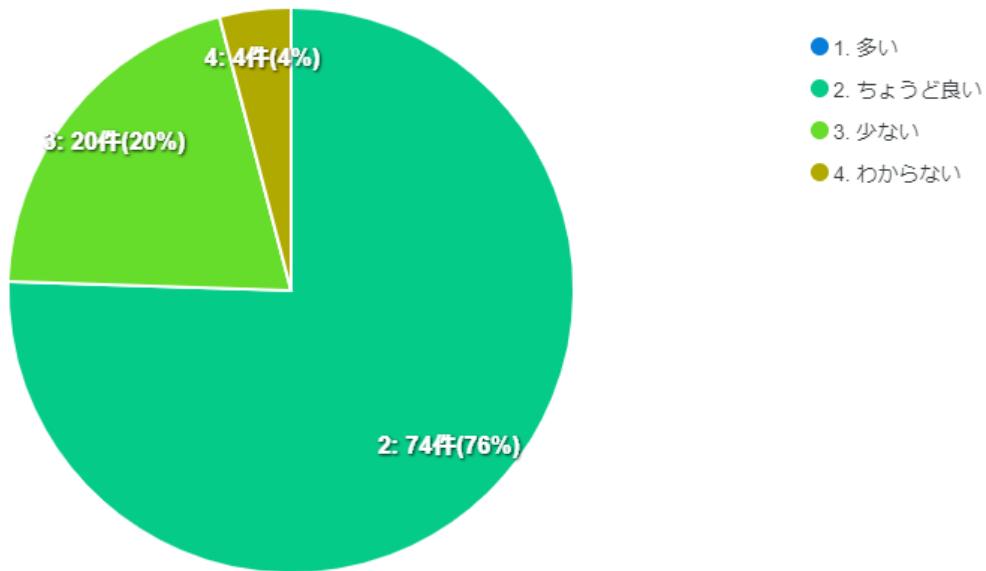
お子様の学年は？



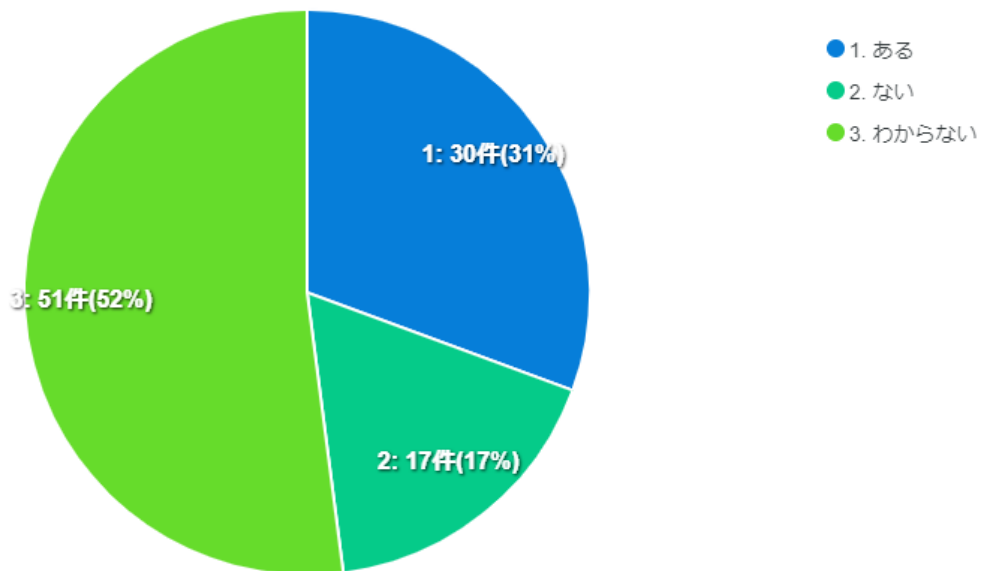
「子ども未来塾」に参加されている理由は何ですか？



「子ども未来塾」の開講回数は学期中の週2回です。長期の休み期間（夏休み、冬休み、春休み）は開講しておりません。この開催回数についてどう思いますか？



「子ども未来塾」に参加したことをきっかけに、お子様の学習意欲が向上したことや学習習慣が身についてきたことなどを感じることはありますか？



保護者として「子ども未来塾」の取り組みについての満足度は？

